

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	IgA血管炎患者の臨床像の検討に関する観察研究
研究責任者	宮奈 香
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	この研究は、IgA血管炎の患者さんの症状や治療法とその後の経過を調べ、より適切な治療と経過観察ができることを目指しています。本研究は当センターの臨床研究倫理委員会で承認されています。 【対象となる方】 2005年1月から2018年12月の間に当センター小児科に入院または外科受診し、その後経過観察を行ったIgA血管炎の患者さんです。 【研究の意義・目的】 IgA血管炎は下腿を中心とした紫斑を前例に認めるほか、腎炎、腹痛、関節痛の合併が多く、稀に腎炎から腎不全に至る例があります。小児に起こりやすいことはわかっていますが、原因は不明で検査での異常値も出にくいいため、症状から総合的に診断されることがほとんどです。多くの症例では自然になおるため、経過観察と対症療法が行われます。腹痛が強い例や腎炎を発症した例については副腎皮質ステロイド剤が投与されることがありますが、ステロイド剤の効果については確立した見解はありません。本邦では少数例の報告が主体であり、ステロイドの効果や予後について検討した論文は多くはありません。当センターでIgA血管炎と診断された患者さんの情報を収集し、新たな知見の有無を検討したいと考えています。
研究方法	【研究の方法】 この研究は厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」を守り、臨床研究倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されているデータを収集して行う研究です。そのため、特に患者さんに新たにご負担頂くことはありません。この研究のためにご自分のデータまたは、お子さんのデータを使用して欲しくない場合は主治医にお伝え頂くか、下記まで2020年3月31日までにご連絡下さい。ご連絡を頂かなかった場合、ご了承頂いたものとさせていただきます。参加されなかった場合でも不利益を被ることはございません。 【個人情報の保護】 この研究に関わる成果は、他の関係する方々に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱うこと必要があります。患者さんの情報・データは、分析する前に氏名・住所・生年月日などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものかわからないようにしたうえで当科において厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当科において符号を元の氏名などに戻す操作を行います。 【研究結果の公表】 研究の成果は、氏名など個人情報が見えなくなるようにしたうえで、学会発表や学術雑誌及びデータベース上で公表したいと思います。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 小児科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：宮奈 香 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604